



心ひとつに

美郷中学校
学校報 NO.19
R4. 7. 21

教育長及び教育委員等訪問

19日（火）午前、教育長さんと教育委員さんなど、美郷町教育委員会から7名が来校し、2・3時間目の授業を参観していただきました。

参観後にいただいた感想の一部を紹介します。

- 学校全体に落ち着いた雰囲気がある。服装・あいさつがよく、廊下やロッカー、雨具かけなども整理整頓されている。
- 授業で、生徒一人一人の考えをじっくり聞いてあげようとしている。授業の流れが分かる工夫や、学習プリントも工夫されている。
- ずっと一緒に授業を受けていたいと感じさせる雰囲気があった。
- 小学校時代から成長の見られる生徒がいてうれしかった。
- ・町に一つしかない中学校は、町の大きな顔の一つであり、うれしい出来事が注目されている。
- △一世代前の、先生のしゃべり中心の授業も見られた。
- △教師の都合で生徒が考える時間を決める、一人一人が考えをもたないままグループ学習をするなど、形式的な取組になっていないかを吟味してほしい。



【1年3組 英語】

【3年4組 理科】

児童生徒支援加配校訪問

20日（水）午前、南教育事務所生徒指導担当の〇〇指導主事が本校を訪れ、授業を参観しました。生徒指導のためにいただいている1名の加配教員の運用状況を確認するための訪問です。

授業参観後にいただいた感想を紹介します。

- 安心して取り組める環境の中で、先生方が共感的な姿勢で生徒に接している。
- 欠席者の机がグループに入れられており、仲間意識が醸成されている。
- △目的意識をもたせたグループ活動や学び合いを設定することなどで、教師の言葉数を減らしていきたい。

また、次のような点に留意するよう指導していただきました。

- ・いじめの認知を増やすことで、重大ないじめをゼロにしたい。認知をためらわないように。
- ・自己指導能力を育成するために、生徒の自己決

定場を増やすなど、積極的な生徒指導に今後でも取り組んでほしい。

この後、全職員で共通理解し、取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました！



【2年1組 家庭分野】

【3年1組 社会】

不登実態校調査（7月）

県教育委員会による「令和4年度不登校児童生徒の実態調査（7月調査）」があり、本校からは、17名の生徒について報告をしました。

不登校とは「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的な理由によるものを除く）」と規定され、「欠席日数の多少にかかわらず、学校が不登校又はその傾向をもつと判断している児童生徒」が該当します。生徒や保護者と面談をしたり、カウンセラー、福祉保健課、教育委員会等と連携したりしながら改善に向けて取り組んでいますが、思うような成果が得られず、残念に思っています。これからも粘り強く改善に向けて取り組むことで、少しでも、一人でも学校に登校できる生徒が増えるよう努力していきたいと思っています。

なお、夏休み明けに不登校になる生徒が増える傾向があります。夏休み中の規則正しい生活、食事、運動等、どうか各ご家庭でご指導くださるよう、よろしくお願いいたします。

一人一台端末の活用

一人一台端末を利用して、夏休み中にオンラインで朝の会を開いたり、わからない問題を先生に質問したりする予定でしたが、先日、端末にセキュリティソフトを導入したところ、オンライン会議が思うようにできない状況になってしまいました。そのため、夏休み中に、1・2年生は各学級担任が部活動に取り組んでいる生徒の様子を見て回ったり、電話で連絡を取ったりするなどして、学級の生徒の様子を確認することにしました。3年生は3者面談の際に、生徒の様子を確認します。

なお、各家庭でのインターネット利用には問題がないようですので、学習にどんどん活用してほしいと思います。

充実した夏休みを過ごしてください！